



本年度の研究主題

自ら学び、協働して課題解決に向かう生徒の育成

7月7日(水)に、研究授業を行いました。3年2組 理科 指導者 藤本和規



一人一台端末で自己の考えを追求し、対話活動でのICT活用で協働的な学びを実践!

3年2組理科の授業において、本校研究主任の藤本教諭による授業を公開し、授業改善に向けた研修を行いました。本校の学力の課題である、思考を深め自律的に課題解決に向かう学び力の育成に向けて、対話活動と振り返りを南中学びスタイルとして学習過程に位置づけた授業づくりとICT機器等を活用し、自他の考えを交流して課題を解決する協働的な学びを生み出す授業を目指しています。

生徒たちは、一人一台の自分専用のクロームブックを使って、集中して取り組み、考えを交流して学習課題の解決に主体的に向かう姿がありました。クロームブックの使い方も全員が習得しており、ICT機器の活用が学びの有効なツールとなっていることを感じました。

また、本研修の協議会においては、福岡県教育庁福岡教育事務所指導主事の井上正成様を講師として招聘し指導助言をいただきました。協議会では、先生たちも対話活動で考えを交流して発表し、学びを深めています。研修での学びを授業に生かせるように取り組んでいきます。



七夕に願いを込めて☆



昇降口の七夕飾り。次から次に願い事の短冊が笑顔とともに増えていきました。みんなの願い事が叶えられますように。

「鍛えて・ほめて・励まして」 南中生のよさや頑張りが輝く学校づくり